

社会資本総合整備計画 事後評価書

令和08年08月07日

計画の名称	綾部市における安全・安心な公共下水道（雨水）整備（防災・安全）（重点計画）													
計画の期間	令和05年度～令和06年度（2年間）											重点配分対象の該当	○	
交付対象	綾部市													
計画の目標	近年、気候変動により水害が激甚化・頻発化している。 潜在的に内水水害リスクがあるにもかかわらず、そうしたリスクが周知されていない場合、住民等に対し当該地域が安全な地域であるとの誤解を招く可能性がある。 このため、雨水出水浸水想定区域を指定し、住民等に内水水害のリスクを周知する。 結果を局所浸水対策基本計画に反映させ作成する。 また、効果促進事業として雨水貯留施設の設置補助を実施する。													
全体事業費（百万円）	合計（A＋B＋C＋D）		32	A	31	B	0	C	1	D	0	効果促進事業費の割合 C / （A＋B＋C＋D）	3.12	%

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		令和5年		令和6年
1	雨水出水浸水想定区域図を作成する。 雨水出水浸水想定区域図を作成する。 1 / 1 = 100%	0%	%	100%
2	局所浸水対策基本計画を作成する。 局所浸水対策基本計画を作成する。 1 / 1 = 100%	0%	%	100%

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	○	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-

A 基幹事業																			
基幹事業（大）	番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	種別 1	種別 2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名 / 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
		一体的に実施することにより期待される効果																	
		備考																	
下水道事業	A07-001	下水道	一般	綾部市	直接	綾部市	管渠（ 雨水）	新設	綾部市における安全・安心な公共下水道（雨水）整備（防災・安全）（重点計画）	局所浸水対策基本設計の作成	綾部市	■	■				31		未策定
											小計						31		
											合計						31		

C 効果促進事業																					
基幹事業（大）	番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	種別 1	種別 2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名 / 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況		
		一体的に実施することにより期待される効果																			
		備考																			
下水道事業	C07-001	下水道	一般	綾部市	直接	綾部市	管渠（ 雨水）	新設	綾部市における安全・安心な公共下水道（雨水）整備（防災・安全）（重点計画）	雨水貯留施設 設置補助	綾部市			■				1		未策定	
		浸水被害の軽減																			
												小計							1		
											合計							1			

事後評価	
○ 事後評価の実施体制、実施時期	
事後評価の実施体制	事後評価の実施時期
綾部市上下水道審議会による評価	令和8年8月
	公表の方法
	綾部市ホームページにて公表
○ 事業効果の発現状況	
定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況	雨水出水浸水想定区域図を作成し、ホームページで公表したことで、市民に対して雨水出水時における避難や浸水防止被害の軽減を図るための啓発ができた。 浸水被害がみられる2地区において、局所浸水対策基本計画を策定し、今後の浸水対策の検討ができた。
定量的指標以外の交付対象事業の 効果の発現状況（必要に応じて記述）	
○ 特記事項（今後の方針等）	

○ 目標値の達成状況			
番号	指標（略称）		
	目標値 / 実績値		目標値と実績値に差が出た要因
1	雨水出水浸水想定区域図の作成数1		
	最 終 目標値	100%	
	最 終 実績値	100%	
2	局所浸水対策基本計画の作成 = 計画策定地区数2 / 対象地区数2		
	最 終 目標値	100%	
	最 終 実績値	100%	